

## 先生方の近況とコメント

### 清水先生：

お変わりありませんか。

お返事遅くなり申し訳ありません。卒業式の日、E組のみんなから、普段の日のHRの私の声や、E組のひとりひとりの声の録音テープ、うさぎのぬいぐるみや花束を頂いて感激で涙があふれた事をおもい出します。

私の中では皆さんが「中学生がちょっと大人になったぐらい」の感じしかありませんのに、還暦同期会を知りびっくりしました。

みんなどんな人生歩んでこられたんだろうと、今、感無量の夜を過ごしています。私も四月に八十一才になりました。

先日ご連絡を頂いた頃には、ひどい「めまい」を起こし、救急車で運ばれたり、二年前には腰椎の手術を受け、最近では膝関節の治療を受け続けています。気持ちだけは若いつもりで新しい事に挑戦したりするのですが、体力が続かず挫折しています。

元気なのは口だけで、友人たちとお茶を飲んでおしゃべりしています。まだ杖は使用しておりませんが、乗り換えの多い都心への外出は自信がありません。何しろ国分寺より東へはここ最近行ったことがありません。

今回、うれしいご案内を頂きましたが参加は遠慮させていただきます。

これから第二の人生を歩まれる皆様のご健康を心より祈っております。どうぞ皆様によろしくお伝えくださいませ。佐々木君はじめ幹事の方々のご苦勞に感謝申し上げます。

### 勝田先生：

申し訳ありませんが、この時期は東京を留守にしております。生まれ故郷の八丈島へ行っていて出席できません。

80歳になり健康を維持するのに苦勞しております。ウォーキングと水泳に励んでおります。会の盛会をお祈りします。

### 五十嵐先生：

同期会の幹事ご苦勞様です。

1974年に卒業された皆さんとは10歳違いだと思います。今度の誕生日でもう70になりますが、気持ちだけはまだ60位のつもりでいます。現職の時とは違う忙しさですが、日々忙しく動いています。

同期会、楽しみにしています。喜んで参加させていただきます。